

御由緒

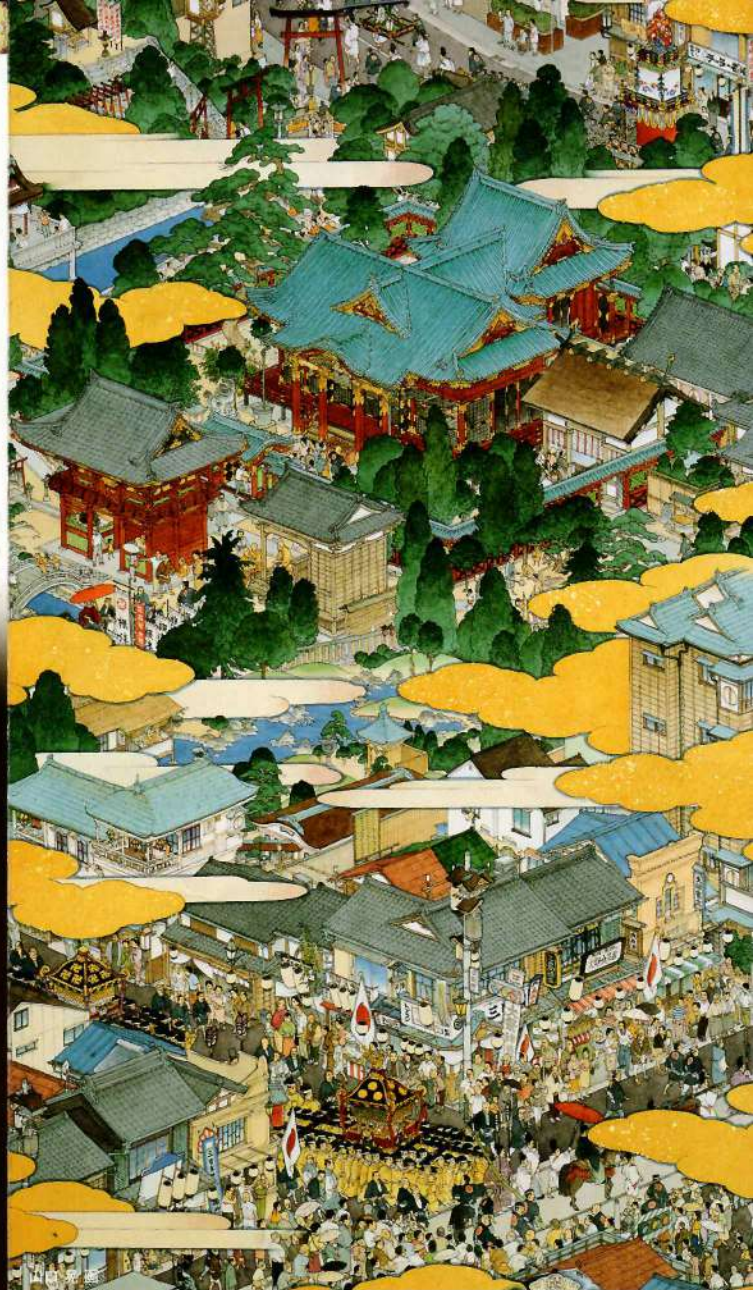
当神社は今から千九百余年の昔、日本武尊が千駄木の地に創祀したと伝えられる古社で、文明年間には太田道灌が社殿を奉建している。

江戸時代五代将軍徳川綱吉は世嗣が定まった際に現在の社殿を奉建、千駄木の旧社地より御遷座した。

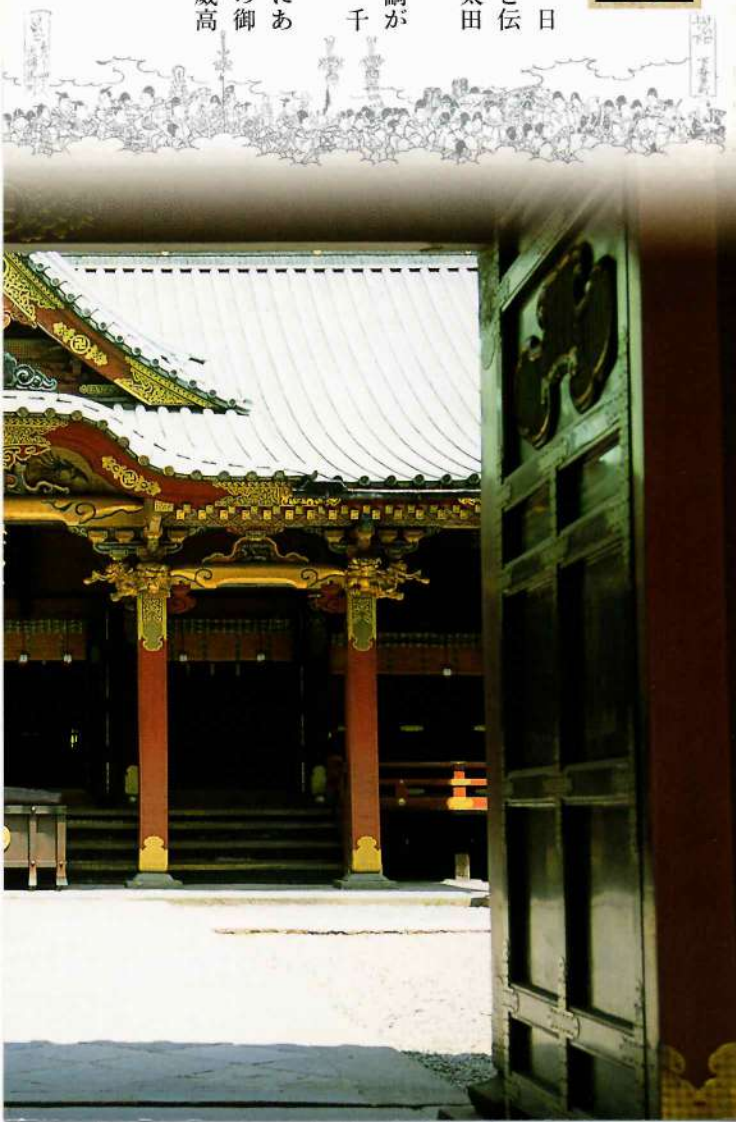
明治維新には、明治天皇御東幸にあたり勅使を遣わされ、国家安泰の御祈願を修められる等、古来御神威高い名社である。

「根津権現」は当社の古称。

例祭 九月廿一日



根津神社



諸祈願

諸祈願を常時受け付けておりますが、神社行事によってはお待ち頂くこともありますので、特に土、日、祭日は念のためお問い合わせ下さい。

電話：03-3822-0753

(問合時間 9:00～17:00)

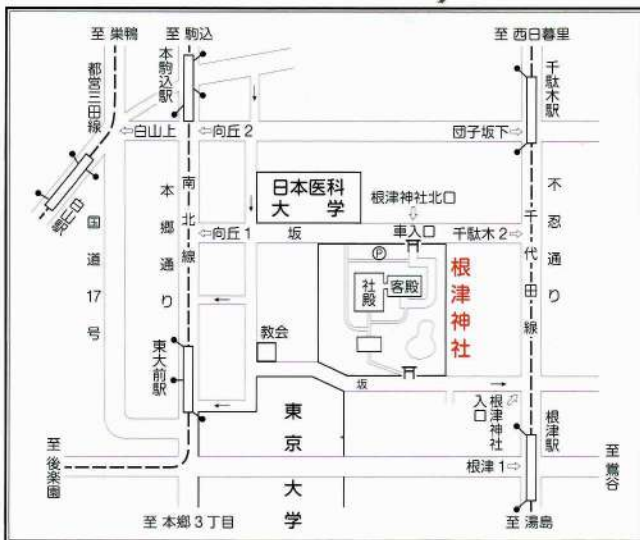


結婚式

重文指定総漆塗りの社殿で挙式が行えます。ご希望によっては苔庭の書院で祝宴を催すこともできます。式場見学などは下記にお問い合わせの上お越し下さい。

電話：03-3822-8753

(問合時間 9:00～17:00)



交通機関 地下鉄：千代田線根津駅・千駄木駅 徒歩 5分
 南北線東大前駅 徒歩 5分
 都営三田線白山駅 徒歩 10分
 都バス：根津神社入口・千駄木二・向丘一 下車

根津神社

〒113-0031 東京都文京区根津 1-28-9

TEL 03-3822-0753 (9:00～17:00)

FAX 03-3822-9753

<http://www.nedujinja.or.jp/>



御祭神

須佐之男命

大山咋命

誉田別命

相殿

大国主命

菅原道真公



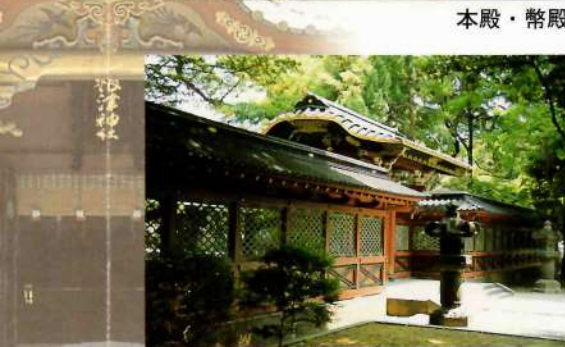
拝殿



御社殿



本殿・幣殿



唐門



境内乙女稲荷神社

宝永二年五代將軍綱吉は兄綱重の子綱豊（六代家宣）を養嗣子と定めると、氏神根津神社にその屋敷地を献納、世に天下普請と言われる大造営を行なった。翌年（二七〇六）完成した権現造りの本殿・幣殿・拝殿・唐門・西門・透塀・楼門の七棟が全て現存し、昭和六年国宝（現重文）に指定されている。



江戸三大祭



大神輿三基

正徳四年の天下祭に六代將軍徳川家宣が奉納したもので、台輪一・六メートル角は神輿として最大、近年のものと違い方形堂舎の木割によって造られているので、堂々たる風格がある。屋根には、一の宮に鳳凰、二の宮・三の宮には宝珠が飾られている。
（祭礼以外非公開）



神楽「三座ノ舞」

翁、猿田彦、山神の舞から成り、面の制作年代から現社殿が造営された頃から伝わるものと推定され、毎年九月の例大祭に、息災・泰平・豊穡を祈って奉納される。

六代將軍家宣は幕制をもって当社の祭礼を定め、正徳四年（一七一四）江戸全町より山車を出し、俗に天下祭と呼ばれる壮大な祭礼を執行した。現存する大神輿三基は、この時家宣が奉納したものである。
同じ格式による山王祭、神田祭とあわせ江戸の三大祭と言われている。



つつじヶ岡

境内地となる以前、前記徳川綱重が屋敷の庭につつじを植えたことに始まり、七千坪の神苑は世につつじヶ岡と呼ばれる府内の名勝であった。今も花季には数十種三千株が咲き乱れる。



三十六歌仙絵



齋宮



業平



透塀



楼門と神橋

